

桜見て想う雑木林

みどり森の雑木林は、薪や落ち葉といった資源を得るために15～20年周期で伐られていました。そんな林の中に、太いサクラの木が点々と生え、春には可憐な花を咲かせます。太いということは切られず残ってきたということだと思のですが、誰が何のために残してきたのでしょうか？単純にサクラの花を見るために地主が残していたのか、スギやヒノキを境界の目印のように、何かの目印として残していたのか、薪として使わなかっただけなのか…。皆さんはどうしてだと思いますか？是非、花見だけでなく昔の人の思いを想像しながらお花見を楽しんではいかがでしょうか。

まずはどんな桜がみられるのか

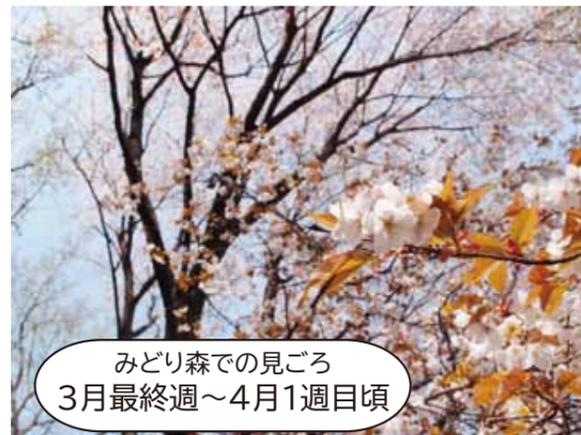
《みどり森で見られるサクラ》

みどり森には3種類サクラの仲間が生育しており、花期が異なる3種全体では3月終わり～4月下旬までサクラの花見ができます。

～サクラと言ったら～

ヤマザクラ

みどり森で見るヤマザクラは大きいものが多く、雑木林に点在するように生えている。他の木々が展葉し始めるタイミングに花が咲くので、この時ばかりは雑木林の中でも存在を強く感じる。



みどり森での見ごろ
3月最終週～4月1週目頃

～ブラシ状の花を咲かせる～

ウワミズザクラ

冬芽がひらくと同時につぼみと新芽が出てきて、緑色の柔らかい葉が開ききった頃に白いブラシ状の花を咲かせる。スッキリした甘い香りの花には多くの昆虫が訪れる。



みどり森での見ごろ
4月2, 3週目頃

イヌザクラ

みどり森の中では本数は多くはない。昨年伸びた枝からブラシ状の花を咲かせる。ウワミズザクラとの違いは花の下部に葉がないことで見分けられる。



みどり森での見ごろ
4月3週目頃

実際に見に行ってみよう 《みどり森桜マップ》

今回紹介した3種類のサクラの観察しやすい場所をご紹介します。タイミングを合わせて見に行ってみてください。

- ▲:ヤマザクラ
- ★:ウワミズザクラ
- :イヌザクラ



「おまん坂のイヌザクラ」や「トンボの湿地から上がった辺りに3本生えているヤマザクラ」などは、伐られず残されてきたと思われる長年生きている桜です。その木があえて伐られず残されて来たのか、たまたま伐られず残されてきたのか、分かりませんが現地に行って想像してみてください。

ナラ枯れの次は…

《サクラに迫る危機!?!》

外来種：クビアカツヤカミキリ (別名クロジャコウカミキリ)

外国から持ち込まれたカミキリムシの幼虫がサクラの仲間の木の材を食べることにより木が枯れる被害が近年確認されています。狭山丘陵の南西に位置する東京都あきる野市や羽村市では被害が確認されている事から、注意する必要があります。

みどり森に生えるサクラ残すために、成虫やサクラの幹にでているフラスを見つけたらご連絡ください。



【特徴】
成虫は体長4cm程で、首に見える(前胸部)が赤色で体は光沢のある黒色。



【フラス】
幼虫が木の材をかじりフンと一緒に排出したもの。

皆さんはどう思いますか？

《雑木林のヤマザクラ》

『武蔵野の雑木林』というとコナラやクヌギのイメージが強いため、植樹をするときに単純な林になりがちですが、雑木林の保全を考えた時はあまり良いことではないと感じます。

なぜかと言うと…

今ある雑木林は何世代にもわたり持ち主がいて、利用や管理をされてきました。持ち主の方々がこの地域で暮らすために必要なものなどを、育てていたことから、『地域の文化』や『元地主の思想』が濃く反映されているはず。そういった思いも反映した【多様な雑木林】の保全をしていきたいと考えているからです。

みどり森インタープリターの“四方山（よもやま）話”

さいたま緑の森博物館（通称：みどり森）のインタープリターによる四方山話のコーナー。
みどり森で起こった出来事や面白いこと、ビックリしたことなどを、各号スタッフが持ち回りでお届けします。

サブカルチャー好き男子の虫語り

今号の担当：秋山 駿（あっきー）

今号の四方山話の担当となり何を書こうかと思案していたところ、笹藪で、ある虫が目につきました。虫に詳しい訳ではありませんが私の好きなサブカル知識を交え、ここは一つ虫の話でも書かせていただこうかと思います。

その生きものの名は「ザトウムシ」。蜘蛛のように見えるものの、実際はダニに近い仲間です。時期によりますが、森に入って足元や木の幹を見ているとこれでもかというほど目に付きます。みどり森に限らず全国各地の森や林の中に生息しているので、見たことがある人もいるのではないのでしょうか。
大豆みみたいな胴体に糸のように細く長い足が8本くっついてゆらゆら揺れている、そんな妖怪のような見た目の生きものです。（※融ると意外と簡単に足が取れてしまうので、見かけたらそっとしておいてあげてください。）
初見だと一瞬戸惑うこの生きもの、その揺れ動く様子を盲人が杖をつきながら歩く様子に例えて「座頭虫」と呼ばれるようになったそうです。



秋山画：妖怪のようなザトウムシ

『座頭』とは…江戸時代の盲人階級の1つで、社会保証のない江戸時代、身体に障害をお持ちの方は『座』と呼ばれる職能組合に所属し、琵琶法師などの職種を専有的に行うことで社会的な身分の保証と経済的自立を果たしていたと言います。映画やドラマにもなっていた「座頭市」ですが、この物語の主人公である市も盲目であり座頭の一人でした。

地域によっては他の呼び名もあるようで、みなさんの地元では何と呼ばれていましたか？私の地元、栃木県ではユウレイグモという呼び名で定着していました。この奇妙な体形から、意外とキャラクターの題材として使われているようで有名どころだと、千と千尋の神隠しに出てくる「窯爺（あのクモみみたいなおじちゃん）」や新世紀エヴァンゲリオンにでてくる使徒「マトリエル」のモデルはこのザトウムシなのだそう。（気になる人は調べてみてくださいね。）

今回はたまたま目に入った「ザトウムシ」を話題に上げましたが、他にもいろいろな生きものを改めて調べてみると、思わぬところで趣味や知ってる物語とのつながりを見つけてより興味が湧くようになるかもしれませんよ。

さいたま緑の森博物館 利用案内



狭山丘陵の北西部に位置する、里山の自然そのものを展示とした野外博物館です。

HP <https://saitama-midorinomori.jp/>
※QRコードから開けます

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は開館し翌日が休館)
祝日の翌日、年末年始

所在地 埼玉県入間市宮寺889-1

電話・FAX 04-2934-4396

アクセス 公共交通機関をご利用の場合、
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」行き
または「金子駅入口」行き乗車、約25分
「荻原バス停」下車、徒歩約10分
※駐車スペースに限りがありますの電車・バスをご利用ください。



緑の森博物館の 利用ルール

緑の森博物館では、以下の8つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- ① 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- ② 他から持ち込んだ動植物（外来種）を放さないでください。
- ③ 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- ④ 犬などのペットを放さないでください。（フンの後始末もしっかりと行いましょう）
- ⑤ 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- ⑥ バーベキューや花火など火を使わないでください。
- ⑦ ゴミは持ち帰りましょう。
- ⑧ ラジコンやドローンは使わないでください。

さいたま緑の森博物館
ニュースレター
Saitama Midori-no-mori Nature Park

はくぶつかんだより
No. 53

厳しい寒さが和らぎ、春らしくなってきました！
これからの時期は多くの花々が咲き、越冬していた生きものたちが動き始め、人にとっても過ごしやすい時期になります。



ヤマザクラ

さて、今号の特集では、そんな「春」にちなんで、みどり森のサクラ特集です！
園内で見ることのできるサクラの種類や花期、見やすい場所を紹介している「桜マップ」なども掲載しています。
是非、このニュースレターを読みつつ、みどり森でお花見を楽しんでみてくださいね♪

イベント情報（4~6月）

電話（04-2934-4396）で博物館までご連絡ください。
また、当館ホームページからもお申込みできます。

イベント名	実施日	対象、定員等	概要	申込期間
大人の自然観察会 「春の野鳥観察」	4/20（土） 8:00~10:30	対象：中学生以上 定員：20名（先着） 参加費：100円（保険代）	野鳥のさえずりを頼りに、春の雑木林で野鳥をさがす、初心者向けの観察会。双眼鏡のない方には貸し出しします。	3/20(水祝)~ (先着順)
みどり森お助け隊 「外来植物の 抜き取り作業」	5/3（金祝） 10:00~12:00	対象：小学生以上 (小学生は保護者と参加) 定員：20名（先着） 参加費：100円（保険代）	みどり森で活動しているボランティア団体や、当館スタッフが普段行っている里山保全活動を気軽に楽しく体験できます。5月は外来植物を抜き取ります。	4/3(水)~ (先着順)
親子はじめての自然観察会 「春の生きものさがし」	5/5（日祝） 9:30~12:00	対象：小学生と保護者 定員：20名（抽選） 参加費：100円（保険代）	親子向けの観察会。大人も子供も、春の植物や昆虫を観察して楽しみましょう。	4/5(金)~ 4/18(木)
食育体験教室 「田んぼで お米を作ろう！」	5/11、5/25 7/6、8/31 9/28、10/26 全6回 全て土曜 10:00~15:30	対象：小学生以上 (小学生は保護者と参加) 定員：50名（先着） 参加費：5,000円（6回分）	田起こしから脱穀までお米ができるまでの全過程を体験して、米作りの大変さや食の大切さを学びます。全6回参加できる方対象。	4/2（火）~ (先着順)
みどり森ミニトーク	5/6(月祝) 6/1(土)、6/9(日) 各日 10:00~13:00~ ※各回20分程度	対象：どなたでも 定員：15名（先着） 参加費：無料	みどり森の自然や生きもの等について、実物や写真を使ってお話しします。	当日受付 直接窓口まで
みどり森 ガイドウォーク	4/7（日） 5/18（土） 6/2（日） 11:00~12:00	対象：どなたでも 定員：15名（先着） 参加費：無料	案内所の周辺で、旬の自然を楽しみながら、のんびり歩くプログラムです。内容は決まり次第HPや窓口にてお知らせします。	当日受付 直接窓口まで
わくわく子ども 里山キャンプ	7/24（水） ~7/25（木） 10:00~翌15:00	対象：小学校3~6年生 定員：18名（抽選） 参加費：10,000円 (保険・材料代)	夏の森で朝昼晩と、テント立てや、たき火体験、ごはん作り、テントで一泊など、様々なキャンプ体験をします。	6/14(金) ~6/22(土)